防災・減災、国土強靱化対策等への継続的な支援

奈良県

要望内容

１．第１次国土強靱化実施中期計画に基づく事業の計画的実施かつ更なる加速化・深化を図るため、必要な予算を通常予算とは別枠で当初予算として確保　【内閣官房、財務省】

２．今後５年間でおおむね２０兆円強程度とされている事業規模について、近年の資材価格・人件費の高騰を十分に踏まえたうえで、必要な事業規模を安定的かつ確実に確保　【内閣官房、財務省】

３．国土強靱化の取組を加速させる必要予算の確実な財源措置
（緊急防災・減災事業債、緊急自然災害防止対策事業債、緊急浚渫推進事業債など）　【総務省】

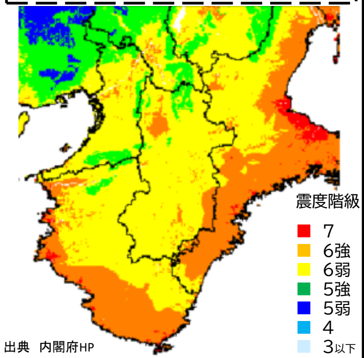
現状・課題

〇南海トラフ巨大地震をはじめとする大規模地震・津波被害、局地的な集中豪雨による大規模災害、「複合災害」の発生等への備えが必要

〇紀伊半島は交通アクセスが限られており、紀伊半島アンカールートは被災地域への迅速な救援や復旧復興活動の輸送路確保のための『命の道』
⇒三重県・和歌山県沿岸部の道路が津波等の被害により寸断された場合でも、内陸から資材や物資を運び被災地を助けることが可能な重要な道路

南海トラフ地震の被害想定

今後30年以内にマグニチュード8～9クラスの地震発生確率が80%程度



出典　内閣府HP

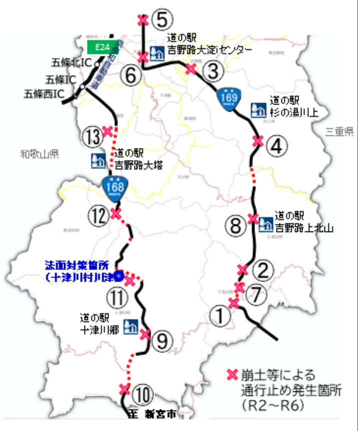
紀伊半島アンカールート

孤立の可能性がある集落の割合

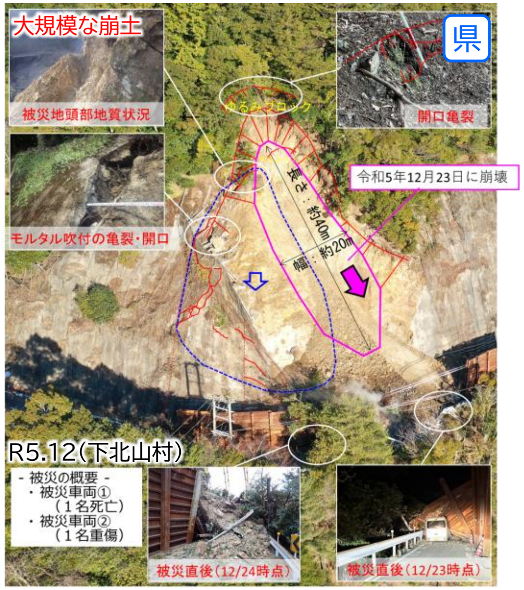
＜農業集落＞
- 奈良県　約36%（　403／ 1,134）
- 石川県　約43%（　179／　 421）
- 全国　　約29%（17,212／58,734）

※出典　内閣府HP

過去5年間の崩土等による通行止発生箇所



〇奈良県内での災害等の状況と課題
奈良県内においても風水害等による被害がたびたび発生し、計画的に事業を推進するには、安定的な予算確保が課題



防災・減災、国土強靱化対策等への継続的な支援

奈良県

取組

1. 防災・減災、国土強靱化の取組の推進

「第１次国土強靱化実施中期計画」に基づく事業や、緊急自然災害防止対策事業債」を活用し、計画的・重点的に取組を推進

中期計

一般国道168号（香芝王寺道路）（香芝市）

中期計

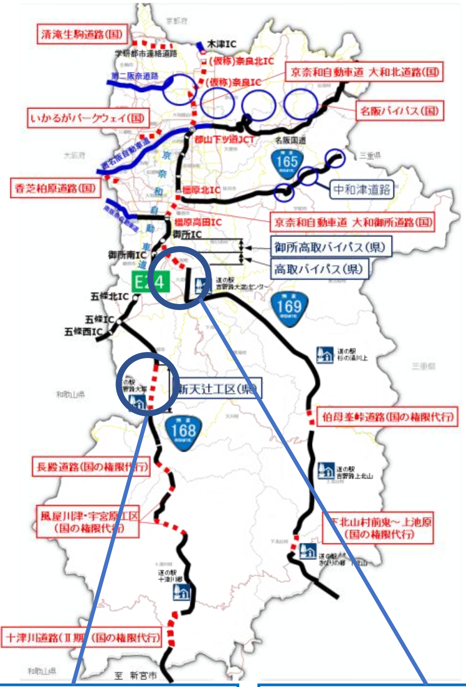
（仮称）葛下　流域貯留施設（王寺町）

緊自債

急傾斜地崩壊対策施設　殿野（五條市）

2. 半島防災・強靱化

紀伊半島の地理的特性を踏まえた「半島防災・強靱化」推進のため、第3期奈良県国土強靱化地域計画に基づく、紀伊半島アンカールートを構成する京奈和自動車道、国道168号五條新宮道路、国道169号奈良中部熊野道路をはじめとする骨格幹線道路ネットワーク等の整備。



新天辻工区（五條市）
トンネル準備工着手

高取バイパス（高取町）
令和8年度供用予定

3. 災害対応力の強化に向けた取組の推進

「緊急防災・減災事業債」を活用した防災対策の取組を推進

○南部中核拠点整備基本計画に基づき、五條市に県南部の核となる広域防災拠点「南部中核拠点」を段階的に整備

○防災機能の早期効果発現のため、令和８年３月に先行整備工事を完了

○今後、支援物資保管庫、駐機場、格納庫や、給油施設等のコアゾーン、併せて消防学校を一体整備予定

緊防債

南部中核拠点：先行整備工事完了

緊防債

南部中核拠点：第2段階整備イメージ

■整備スケジュール（今後の事業進捗等により変動の可能性あり）

年度		R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17～
第1段階（先行整備）	造成	設計→工事→完成										
第2段階（コアゾーン整備）	造成	測量・調査・設計等 →				準備工事	工事 →					
	建築		測量・調査・設計等 →							工事 →		
第3段階（支援ゾーン整備）							平時の活用検討　測量・調査・設計等　工事 →					